

自治会・地域

- ◆ 有害鳥獣対策のため、わな猟とアマチュア無線3級の資格を取得し地元生産組合に協力しています
- ◆ 地元こゆるぎクラブで転倒骨折や認知症の予防と一緒に取り組んでいます
- ◆ 五所八幡宮宮総代を経て、文化の夜明けグループで五所八幡宮の広報・記録に協力しています

子ども・社会教育

- ◆ 町子ども会育成指導者連絡協議会顧問として活動を続けています
- ◆ 社会教育委員として生涯学習施設調査、里都まちブックピクニックなどの文化活動を実施
- ◆ 地域スポーツの振興の取り組みも
- ◆ 中村小読み聞かせボランティアを10年続けています

里都まちを元気にする活動

交通安全・防災

- ◆ 比奈窪バイパス開通後、多発する事故に危機感を感じ、登校見守りを続けて3年になります
- ◆ 足柄交通安全協会監事として、広域的な交通安全にも取り組んでいます
- ◆ SNSでは中井のよさだけでなく、大雨時の雨量や川の水量、犯罪情報も発信

自然・環境

- ◆ 町生物多様性調査会と協力し町内に自然観察コースを作っています
- ◆ 巖島湿生公園運営協議会副会長、カサスゲの会会員として巖島湿生公園の保全活動に協力しています
- ◆ 日本自然保護協会自然観察指導員
- ◆ 清掃ボランティアとして地域で美化活動を行っています

戸村裕司(とむらゆうじ)プロフィール

昭和43年(1968)4月26日 東京生まれ 中学まで千葉県八千代市で育つ
 昭和59年(1984) 千葉大学教育学部附属中学校卒業
 ガソリンスタンドを営む東京・錦糸町の父の実家に転居 母方の実家は千葉で現在も専業農家
 昭和62年(1987) 東京都立両国高校卒業
 平成4年(1992) 国際基督教大(ICU)教養学部社会科学科卒業
 平成6年(1994) 同大学院比較文化研究科博士前期課程修了 マハトマ・ガンジー研究 比較文化修士
 平成6年(1994) 株式会社キリスト新聞社編集局記者
 平成9年(1997) 福祉施設勤務 重度心身障害者、知的障害者、身体障害者、高齢者とのかかわり
 平成12年(2000) NGO「愛の樹」グループ愛の会事務局長
 フィリピンハンセン病隔離島支援・国内ホームレス支援
 欧米10か国で福祉、地方自治、地域貨幣、環境、エネルギーなどに関する実地調査
 平成14年(2002)100か所以上の土地を周り祖原と出会い、NGO本部・事務局が移転。中井町民に

これまでの中井町での活動

中井保育園保護者と先生の会会長、中村小学校PTA会長、中井中学校PTA会長、県立秦野高校PTA会長(3年間)、松本上自治会会計、スポーツ振興員、五所八幡宮神輿担ぎ手5回・世話人・宮総代

(以下現在の活動)

松本松栄会会員、中村小読み聞かせボランティア、子ども会育成指導者連絡協議会(町子連)顧問、社会教育委員、五所八幡宮文化の夜明け、巖島湿生公園運営協議会副会長、カサスゲの会会員、足柄交通安全協会監事

戸村裕司(とむらゆうじ)連絡先・SNS

住所 中井町松本1026-17 電話 0465-81-2037 携帯 080-8050-7535
 メール tomurayuji@docomo.ne.jp facebook 戸村裕司 Twitter@tomurayuji
 LINE yujitomura ホームページ tomurayuji.info facebookページ 一万人家族の会

質問！

"あなた"と"中井町"にどんな人が必要ですか？

- 相談に、親身に応えてくれる人
- 女性の声を大事に受け止める人
- 子育て真っ最中で教育を重視する人
- 福祉や介護の経験がある人
- 多様な地域活動に取り組む人
- 感情や好き嫌いで決めない人
- 聞く耳を持ち持論を押し付けない人
- 最良の政策を学び続けている人
- 議会改革に積極的な人
- 中井町のよさを探し続けている人
- 中井の20年30年先を見つめる人
- しがらみよりつながりで押せる人

7つ以上に当てはまったら開いてみて下さい

みなさんを徹底応援しています

おかげさまで地域みなさんに温かく迎えていただき、17回目の春です。町民みなさんの願いを受け止め、「迅速」に願いを関係各所に伝え、得られた情報を「正確」にお返事し、たとえ願いがかなわなくても、「親身」にサポートすることで、常にみなさんを徹底応援しています。ここに、議員2期8年間の経験から、あらたな4年間の取り組みをお伝えします。

過去4年間(2期目)のおもな実績

みなさんが抱える問題や町の課題や将来を、議会や日々の議員活動で取り上げてきました。時間はかかることがありますが、成果が見えてきました。

- ☑ 防災行政無線デジタル化に伴い更新される個別受信機を、「希望者のみ有料配布」から、「全戸無償貸与」にし、情報格差を未然に防ぎました
- ☑ 公共施設の長寿命化に向け、劣化度調査等を前倒ししてもらい今後の計画の精度を高めました
- ☑ 隣市霊園建設のため、舗装が劣化し、周辺住宅に振動などの被害が起きていましたが、その町道が事業者の寄付等を財源に補修されます
- ☑ 災害時の情報途絶を防ぐため、避難所となる全体育館にテレビアンテナが設置されました
- ☑ 町役場等に、県受動喫煙防止条例にのっとった喫煙スペースが整備されました

一般質問への町の対応

本会議では平成30年時点で毎回一般質問を行い、28問の政策提案をしました。1期目より具体化されるものが増えています。

町の対応	2期目		1期目	
○実施・実施予定	12問	43%	10問	37%
△他の動きが起きた	10問	36%	8問	29%
×動きのないもの	6問	21%	9問	33%
合計(○+△の割合)	28問 (79%)		27問 (66%)	

①本気の交通システムをみんなでつくろう

オンデマンド型交通には、実は定時・定路線型にはない効率性があります。予約のわずらわしさはIoT※で先取的に軽減すべきです。公共バスとつなぐ町内移動に加え、住民NPOなど別主体により町外への移動を、制度や規制を超えて確保し、同じオンデマンドシステム内で運用、免許大量返納時代に備えます。

※IoTとはインターネットにつながった身近な機器

②教育こそ最大の子育て支援

- * 小・中学生には自己肯定感と基礎学力の向上を目指した教育の拡充を。高校生には、教科書代支援で「学び」を第一にサポートし、青少年リーダー育成等で地域とのかかわりの継続を推進します
- * 0～2歳児のいる家庭へ所得制限のない支援を



それは「信頼」一本でみなさんと結ばれるとむらゆうじ(50)です

いま必要な8つの提案

③安心して暮らせる老後の補償を

- * 物価や税負担が重くなっています。医療や介護の保険料を算定する際、また公共料金等の改定にあつては、年金だけでは苦しい高齢者の生活実態に即し、家計負担に総合的配慮を求めます
- * 安心して必要な介護が受けられる体制確立を

④町民納得のインフラ・公共施設更新を

公共施設やインフラの更新期が到来。持続可能な財政運営のために、複合化・集約化を前提に公共施設の再編が不可欠です。早期に町の公共施設の今後のあり方を議論すべきです。住民理解のない開発には強く反対。急傾斜地への減災対応の拡充を。

⑤生物多様性のまちづくり

町内で絶滅危惧種とされる生物が多数見つかリ、自然の豊かさが裏付けられました。生物多様性の推進で自然体験を軸にした体験型観光がうまれます。

- * 豊かな湿地として巖島湿生公園の自然回復を推進
- * 関東大震災100年に向け、隣市と連携し震生湖のジオサイトとしての整備を推進します

⑥積極的に移住者を呼び込む施策を

町では3世代同居・近居や若い世帯の転入支援を行っています。職場を変えずに、比較的安価で持ち家を得て、自然豊かな環境で暮らしたい、子育てしたい、そうした家族との出会いを積極的に用意すべきです。交通・買い物等による人口流出やUターン不安にも危機感を持って住民の利便性の向上を図ります。

⑦行政改革の推進と影響の見える化を

町民負担が少しずつ増えています。一方で法人町民税一部国税化等で税収が減少。行政改革大綱で行革の方針と町民への影響を見える化すべきです。

- * 子育てと教育、暮らしと福祉、第一の予算編成
- * 特別職報酬等審議会を開催し特別職報酬見直し
- * 人事評価制度の本格導入も含め職員給与適正化

⑧議会改革を次の段階に

議会議員政治倫理条例と、おそらく国内初となる議会災害対策基本条例の調査・起草を担いました。

- * 予算決算特別委員会で審議を深めます
- * 議員定数削減を含めた適正化を再度議論します
- * 町の課題をテーマにした議会主催シンポの開催

中井町議会議員としての役職(2期目)

【前期】副議長、文教民生常任委員会委員、議会運営委員会委員、議会だより編集委員会委員長、介護保険運営協議会委員、足柄東部清掃組合議員

【後期】監査委員、総務経済常任委員会委員、議会運営委員会委員、議会広聴委員会委員、介護保険運営協議会委員

中井町をあきらめない！ お一人おひとりを大事にする町を一緒に作りましょう